



中原 修 建設部門（建設環境）

勤務先：和光技研株式会社

「フィッシュッ！（魚が掛かったときに叫ぶ言葉）」同行者の声が河原に響き渡る。「ヨシ！」と私。カリカリとリールを巻く。「アレ？ 小さい？」「あーっ！ ドリーだ！（ドリーバーデン、オショロコマのこと）」。こんなことが4度も。カナダ初挑戦は、お目当てのスチールヘッドを釣ることができずに終了。降雨による増水と低水温の影響で魚の活性が低かったのが原因と現地ガイドに慰められる。広いところでは川幅 100 m を越える自然河川。そんな大きな川が自由に蛇行し、思わず尻込みしてしまうような荒瀬やドン深な淵を形成。圧迫的な光景に日本の川を憂う…。これは数年前のカナダ初釣行時の日記です。

現在私は、建設コンサルタントとして、主に河川や砂防に係わる自然環境調査や計画・設計に携わっています。以前から、河川環境へ配慮し計画・設計したものが、実際に効果を発揮しているのかどうかに疑問を持ち、最近では河川環境を定量的に調査・評価すべく、日々投網担いで川を歩いています。

北海道の川は、日本の中では比較的自然が残っている方だと思いますが、せつかくサケ等が海から遡上してきても超えられない落差があったり、超えることができたとしても産卵する場所がなかったり、「要治療」の川がたくさんあります。防災と環境との両立については、流域住民の合意形成など困難が伴いますが、いつの日か、カナダに負けないうらい自然たっぶり、お魚たっぶりの川の実現を夢見て、川の診察方法・治療方法を確立すべく、日々精進を重ねる所存です。



次号は、野沢哲哉さん（建設部門）



本間 美樹治 建設部門（鋼構造及びコンクリート）

勤務先：株式会社中神土木設計事務所

私はたら子の産地として有名な？ 虎杖浜に生まれ、高校までそこで育ちましたが学生から現在まで 34 年間北見市に住んでおります。今年で株式会社中神土木設計事務所に入社し 30 年になります。入社以来、携わった仕事は上下水道、道路関連、橋梁、農業土木全般等々の設計と多種にわたり、はて自分の専門は何？ と疑問を持つこともありますが中心にあったのはコンクリートで、同部門の技術士を目指しました。最近はビジネスエンジニア（簡単に言うと営業です）としても活動しています。

近頃、故郷に帰る機会がありましたので望郷をまじえながら虎杖浜を紹介したいと思います。噴火湾に面した室蘭市と苫小牧市の中間に位置し、背後は緑の山々を有し自然豊かな町（村）です。山海の幸にも恵まれ毛ガニ、ホッキ貝、特産品のたら子など美味しいものが盛り沢山あります。子供の頃、海辺は野球ができるくらい広々とした砂浜で、山はクワガタ、セミ、ザリガニの宝庫で顔を真っ黒にして一日中遊んでいたのを思い出します。これだけ読むと一度は行ってみたい方もあると思いますが、残念ながら現在の姿は少し変わっています。数十年前に近くに浚渫による港ができ、山間には高速道路と国道 36 号線が平行して走っています。直接の原因かは解りませんが、あの砂浜は消え防波堤が海辺を守り、セミの鳴き声より車の騒音が聞こえる環境になっています。文明の発展と自然環境の保全が相反すること改めて考えされ、技術者として自然豊かな環境を次の世代へと引き継ぐ責任を強く感じさせられた故郷でした。



次号は、牧野勇治さん（建設部門）